

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

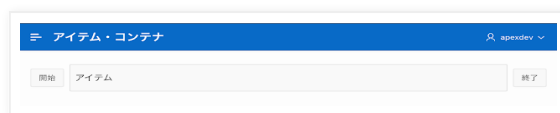
2022年11月30日 水曜日

## APEX 22.2のアイテム・コンテナについて

APEX 22.2よりリージョン・テンプレートにItem Containerが追加されました。APEX Office Hourの[Part 4: PWA, User and Developer Experience](#)の5:12より、開発者のVincent Morneauさんが紹介しています。

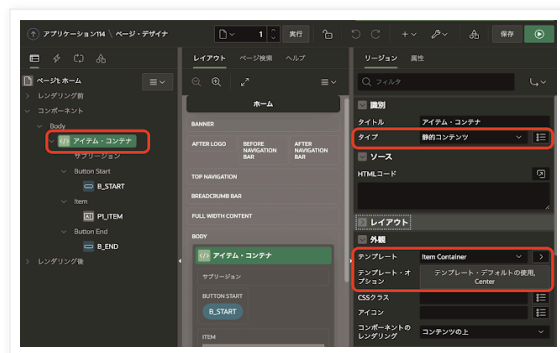
アイテム・コンテナにより、以下のようにボタンとアイテムを横一列に配置する際に、テンプレート・オプションで揃える位置を決めることができます。

以下は中央(Center)の例です。



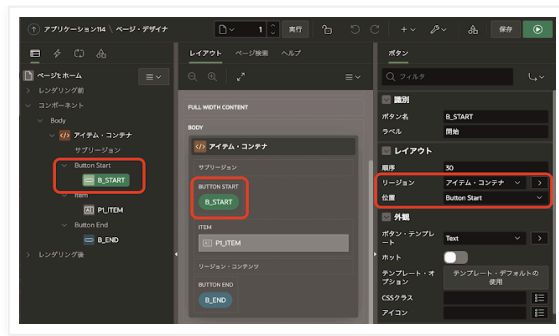
APEX 22.2以前は、[過去の記事](#)に書きましたがCSSを定義する必要がありました。

アイテム・コンテナとは、**外観のテンプレート**としてItem Containerを選択した**静的コンテンツ**のリージョンになります。

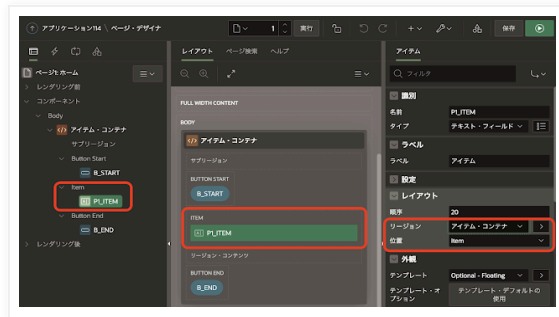


このリージョンを親としてボタンやページ・アイテムを配置します。ボタンを配置できる位置は**Button Start**と**Button End**、ページ・アイテムを配置できる位置は**Item**です。他の位置には配置できません。

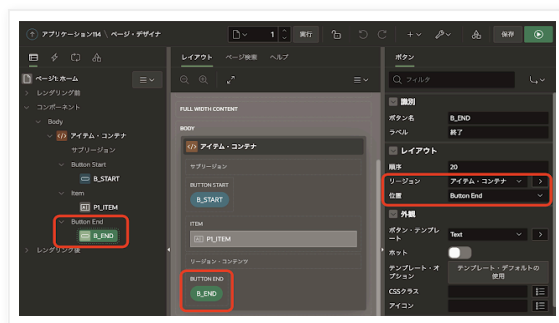
ボタンB\_STARTを、**Button Start**の位置に配置しています。



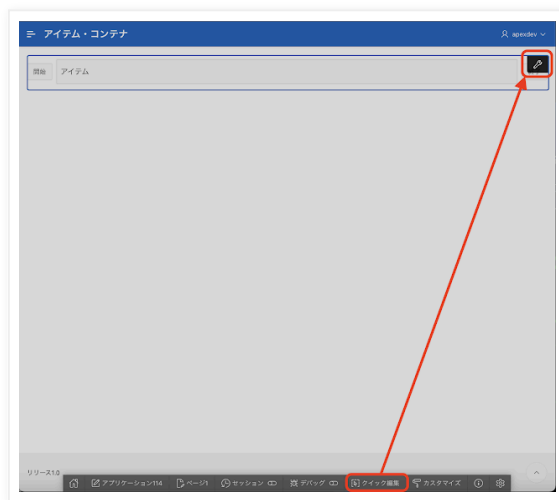
ページ・アイテムP1\_ITEMは位置Itemに配置されます。



ボタンB\_ENDは、Button Endの位置に配置しています。



ライブ・テンプレート・オプションを使って、テンプレートとしてItem Containerを指定しているリージョンのテンプレート・オプションを変更してみます。



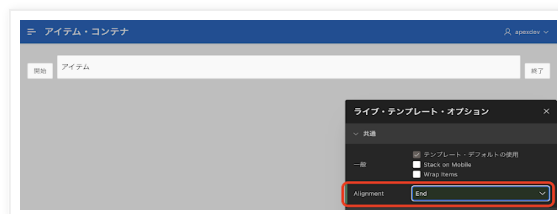
AlignmentとしてCenterを選択した場合です。



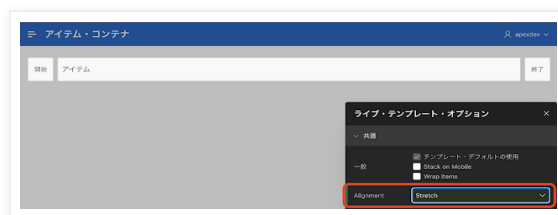
AlignmentとしてStartを選択すると、上揃えになります。



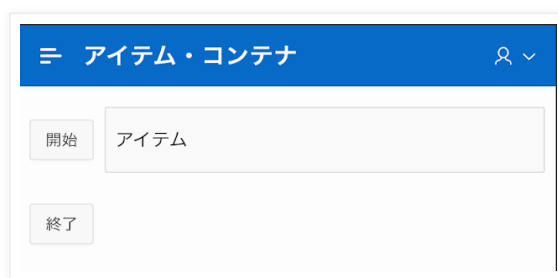
AlignmentとしてEndを選択すると、下揃えになります。



Stretchを選択すると、ボタンの高さがアイテムの高さと同じになります。




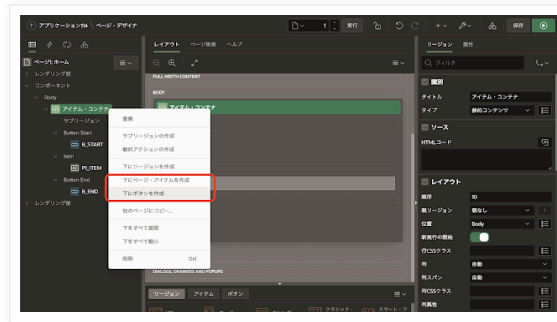
Wrap Itemsにチェックを入れると、画面幅が狭い時にアイテムが回り込みます。



Stick On Mobileにチェックが入っていると、コンポーネントの配置は以下のようになります。



アイテム・コンテナのリージョンのコンテキスト・メニューよりボタンやページ・アイテムを作成しても、**レイアウトのリージョンが親なしになり、コンテキスト・メニューを開いたリージョンになりません。**



完

[ウェブ バージョンを表示](#)

#### 自己紹介

**Yuji N.**

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。  
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.

---